

Present

〒830-0018 久留米市通町111-18 北島ビル404号
pe-pa-work セカンド編集部宛
info@new-second.com

プレゼント応募方法

(1)お名前(2)ご住所(3)電話番号(4)年齢(5)ご希望のプレゼント(6)入場場所(7)一番おもしろかった記事、セカンドへのメッセージor今後の特集に関する情報等を明記の上、2024年1月31日(水)必着でハガキ、メールにてご応募ください。抽選後、当選された方には賞品及び、当選ハガキを発送致します。

- 1 グリーンランド入園券**
ペア5組10名様
《提供》グリーンランド
TEL.0968-66-1112
- 2 福岡県青少年科学館常設展示・コスモンター招待券**
ペア5組10名様
《提供》福岡県青少年科学館
TEL.0942-37-5566
- 3 T・ジョイ久留米映画招待券**
(特別興行は除く)
4名様
《提供》T・ジョイ久留米
TEL.0942-41-8250
- 4 筑水堂 お菓子の詰め合わせ**
(2,000円相当)
1名様
《提供》筑水堂
TEL.0942-32-5531
<https://www.taiho.net>
- 5 大砲ラーメン 昔ラーメン カップ麺 1ケース**
(12個入り)
(3,600円相当)
1名様
《提供》大砲
- 6 宮崎商店 季節のフルーツ盛り合わせ**
(3,000円相当)
1名様
《提供》有限会社宮崎商店
TEL.0942-38-4345
- 7 風来坊 お持ち帰りパック**
(3,000円相当)
1名様
《提供》風来坊
TEL.0942-33-0941
- 8 しのはら珈琲店 ドリップパック 5個セット**
2名様
《提供》しのはら珈琲店
TEL.0942-32-0932
- 9 末次ホルモン 詰め合わせ**
(2,000円相当)
1名様
《提供》末次ホルモン
TEL.0942-62-5454
- 10 DIAMO リップグロス or トップコート**
1名様
《提供》ゆひわや
TEL.0942-38-7851
- 11 大木産の乾燥エノキ**
2名様
《提供》道の駅 おおき
TEL.0944-75-2150
- 12 家族湯 いつみ乃湯 温泉入浴券 5枚**
《提供》家族湯 いつみ乃湯
TEL.0942-41-1230
※プレゼントは、1枚で大人4名様まで入浴できるBタイプ(2,400円)の券
- 13 量 大香 量花台**
2名様
《提供》株式会社 大香
TEL.0942-32-6567

ちくごのいいものをギュッとコンパクトに詰め込んだ情報紙

SECOND

2024
vol.133
FREE

01

情報紙 セカンド
発行人 / 石橋雅子
〒830-0003 久留米市東柳原町2066
TEL.090-5749-9964
MAIL info@new-second.com
<https://www.new-second.com>
f <http://www.facebook.com/new.second.kurume>
@second_freepaper



久留米で、歌舞伎を

KURUME DE KABUKI WO

ラーメン外伝125〜映画「ラーメン侍」幻の脚本⑭〜

大砲ラーメン店主 香月 均史

明けましておめでとございます。本年もコラム「ラーメン外伝」を宜しくお願い致します。

前号十二月のクリスマスに続き、今号は「正月」の時期と重なった目出たいシーンをお届け致します。

シーン14 長屋の正月

元旦の朝、光が目覚ますと、またも枕元に何かある。それは祝いの(のし袋)だった。のし袋には、明らかに昇の筆跡で「おとし玉 三太」とあり、と書かれてあった。封を開けると、百円札が枚入っていた。

二段ベッドを駆け降りると光は昇に抱きついた。「父ちゃんありがとう」

昇はわざとらしくとほけて言った。「何のこつか？ 礼なら三太のオヤジに言え。それより、きょうは元旦ぞ。別の挨拶があるやろ？」

「あ、そうか。では、父ちゃん、母ちゃん…」

玄関が開いた。「あけましておめでとございます」端午の声が出た。後ろにはきんぎょがいます。

「あけましておめでとございます」きんぎょは美しい着物姿である。その後ろには善次郎がいた。

「アニキ、アニキのお陰で、こうやってきなこに着物も買ってやれたし、何ちゅうてもオヤジの目

の手術もできた。ほんに感謝しております。とります」

端午は鼻をすすった。善次郎も深く頭を下げながら言った。

「息子たちが大変お世話になっております。お陰さまで親子三人で暮らすこともできました。本当に…」

昇は手をふりながら「よかよか、さ、上がらんの」

長屋の軒のツララから滴がひとつ落ちた。

「あ、あの娘をペットにしたくってニッサンするのはバックカード」

端午が小林旭の(自動車ショー)歌を歌いながら踊っている。振り付けはなぜか、安来節(どじょうすくい)である。鼻の五円玉も皆の笑いを誘っている。

昇も一升瓶を持ったまま踊りはじめた。

全員大笑いしながら手拍子をつけている。

快晴の空には、いくつかの凧が揚がっていた。どこからか羽子板の音がきこえる。次号へ続く

バックナンバー taiho.net